

# 鎌倉市緊急経済対策

平成20年11月25日

## 1 わが国をめぐる経済状況

昨年来、住宅着工件数の落ち込みにより、建設業が大きな打撃を受けたことに加え、原油や鉄鋼、穀物などの原材料の高騰により、農水産業から製造業、運輸業、サービス業に至るまで、幅広い業種が仕入れ価格の上昇と収益の圧迫に苦しみました。これらを背景に、政府は今年8月の月例経済報告において、戦後最長と言われた好景気がついに後退局面に入ったことを表明した後、景気の落ち込みが続き、10月には「弱まっている」と判断しています。

さらに、米国に端を発した金融不安は世界に広がり、金融機関の破たん、株価の大暴落、為替の混乱を引き起こし、ついには世界同時不況に至ったと言われています。これまで、わが国の景気を牽引してきた製造業も、業績を大きく下方修正しており、今後の経済の先行きが見えない状況にあります。

こうした中で、政府は、現時点の経済状況を「百年に一度の暴風雨」と捉え、セーフティネット保証の拡大による中小企業金融対策や、定額給付金などの緊急経済対策を打ち出しています。

### ① 消費・投資などの需要動向

個人消費は、雇用者所得の伸び悩みやエネルギー・食料品価格の上昇などから弱めの動きとなっています。このような中での株価の大幅な下落はさらに消費者の購買意欲を冷やすおそれがあり、実体経済への波及も含め、今後の動向にはより一層の注視が必要です。

設備投資はなお横ばい圏内の動きですが、その先行きについては、企業収益が減少し、世界経済の下振れ懸念など不透明感が高まるなかで、全体として減少していく見通しが高くなっています。

### ② 企業活動と雇用情勢

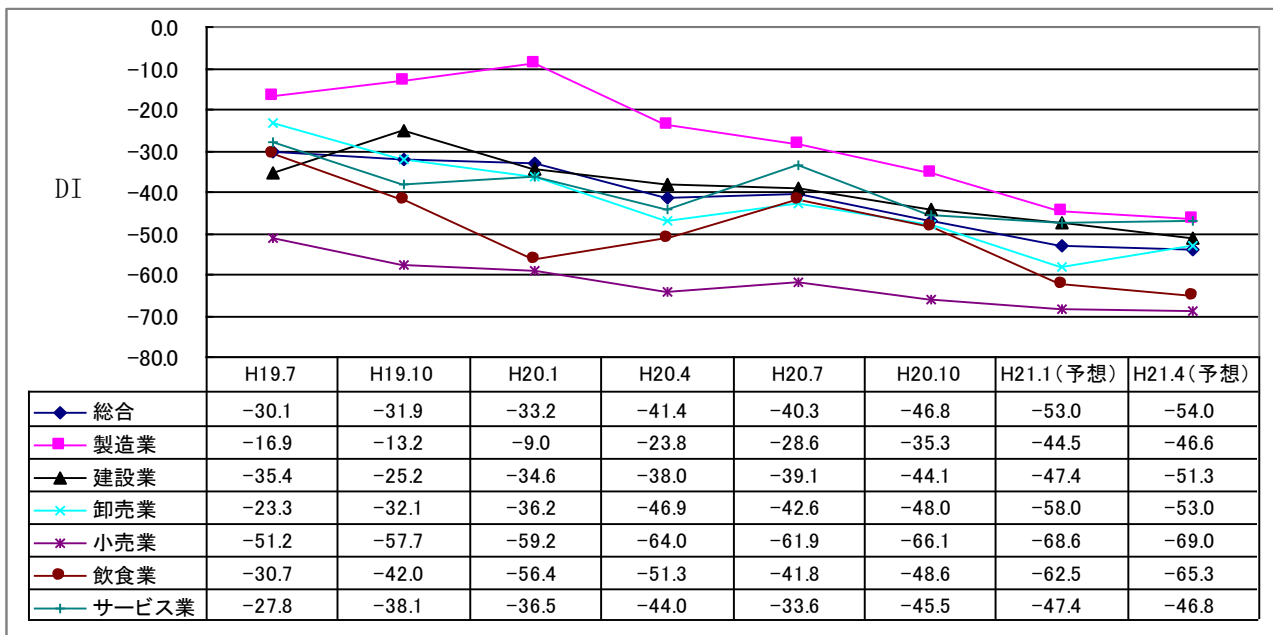
設備投資の弱含みや輸出の減少などに伴う鉱工業生産等の減少・在庫率の高まりなどを受け、企業の収益環境、業況判断は大きく悪化しており、企業の倒産件数は増加しています。

企業活動が停滞するなかでの新規求人数の減少、有効求人倍率の低下を通じ雇用情勢は悪化の傾向にあります。

## 2 県内及び市内企業の景気動向

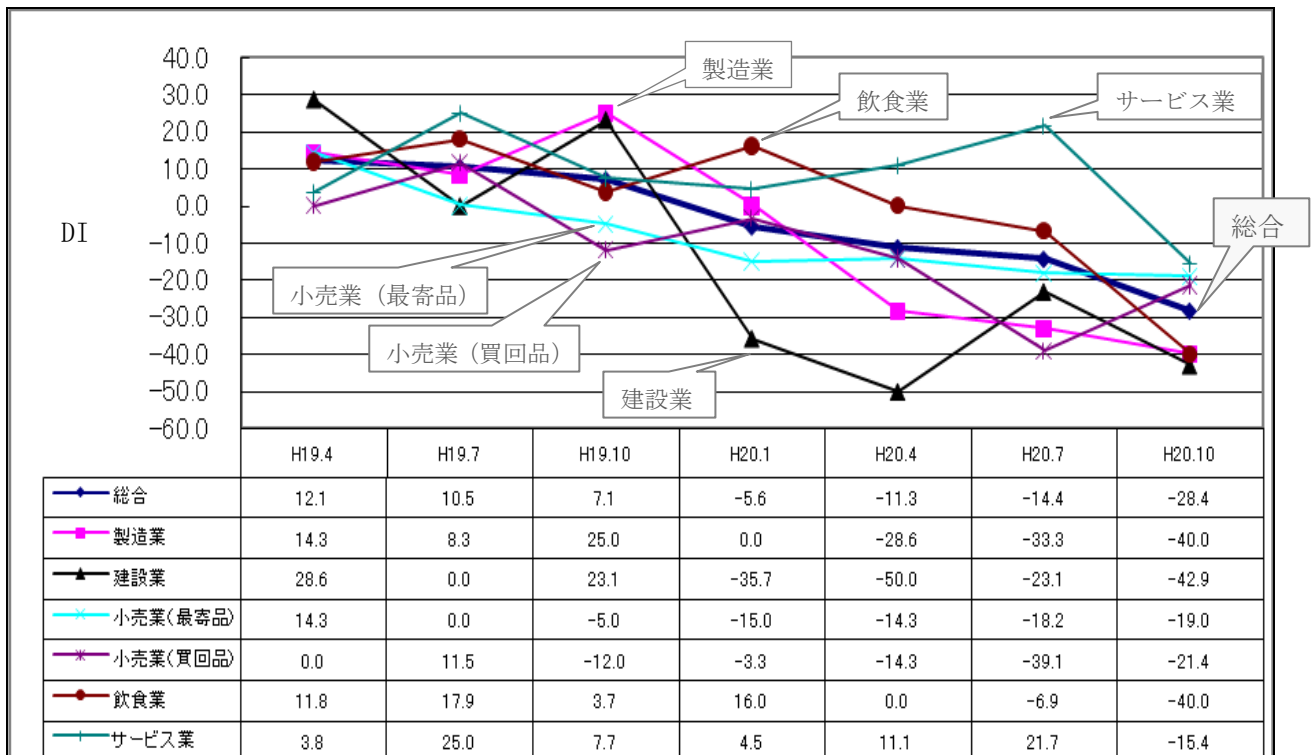
県内中小企業の業況判断DI※は、平成20年10月調査によると、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業のすべての業種でマイナス30を下回り、前回調査と比べて低下

しました。また、現在の業況判断と比べて、3 ヶ月後及び半年後の業況はさらに低下することを予想しており、企業の業績の悪化が進んでいることが窺えます。



資料：(財) 神奈川産業振興センター「神奈川県中小企業景気動向調査」

市内中小企業の全業種の業況判断 DI は、平成 19 年 4 月調査以来、連続して悪化しており、平成 20 年 10 月調査においては、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業のすべての業種がマイナスに転じました。



資料：鎌倉商工会議所「鎌倉中小企業景況調査」

※DI (Diffusion Index)…業況判断指数。業況等について「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた数値のこと。

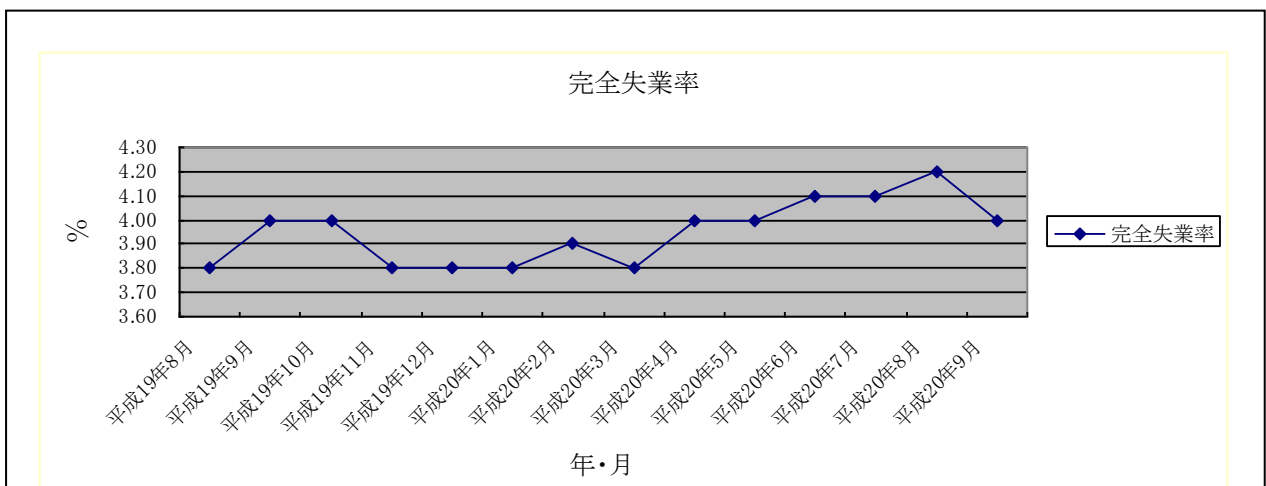
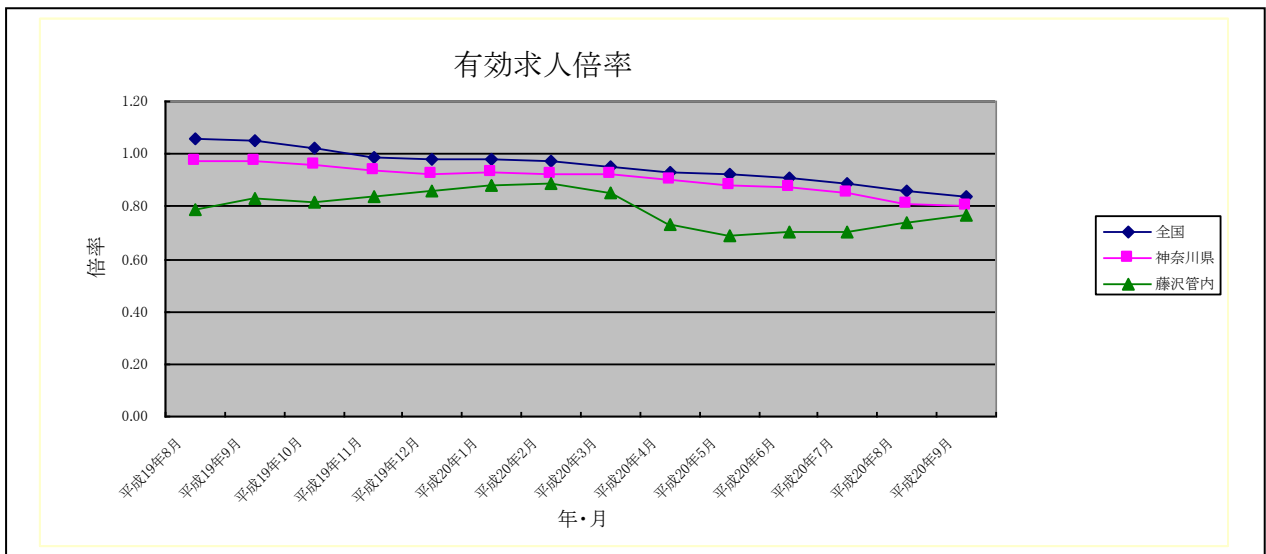
### 3 雇用動向

平成19年度の全国の完全失業率（季節調整値）の平均は3.9%で、10年ぶりに3%台に回復し、有効求人倍率についても、全国で年平均1.02倍と2年連続して1.00倍を越える状況でありました。

しかし、本年4月に入り完全失業率は4%台に悪化し、その後9月まで4%台を推移し、回復の兆しが窺われない状況となっています。

また、有効求人倍率も全国で平成19年11月に0.99倍と1.00倍を切って以降悪化を続け、本年9月には0.84倍まで落ち込んでいます。神奈川県では、平成18年11月に1.00倍を切り、0.9倍台を推移していましたが、本年5月に0.88倍と0.90倍を切って以降急速に悪化し、9月には0.80倍まで落ち込んでいます。

さらに、ハローワーク藤沢管内においては、平成19年度平均で0.82倍となっていました。本年4月に0.73倍と0.80倍を切って以降、5月には0.69倍と0.70倍を切るなど低迷しており、8月に0.74倍、9月には0.77倍と若干持ち直す傾向が窺われるものの、今なお、国・県を下回る水準で推移しています。



## 4 緊急経済対策の基本方針

目下の経済情勢のみならず、アメリカ・欧州の金融危機の深刻化や世界経済の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、年末から来年にかけての景気の状態はさらに厳しいものが予想されます。

地域生活全体の強固なセーフティネットを構築していくため、市民生活安定のための雇用促進支援策、景気動向に左右されやすい市内中小企業への支援策、地域経済活性化のための対策など平成20年12月からの短期的な取組みとして、「鎌倉市緊急経済対策」を実施します。

## 緊急経済対策の概要

■ 66事業 ■ 事業総額 104,334千円

### 1 雇用促進支援対策

2,000千円

- ・ 3市1町合同（鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町）の就職面接会開催
- ・ 障害者雇用報奨金の拡大（支給事業者の拡大）
- ・ 鎌倉ふれあいショップの開催回数の拡大
- ・ 地域作業所、福祉施設の物品販売等の機会拡大

### 2 中小企業等支援対策

31,097千円

- ・ 中小企業融資に係る信用保証料補助の拡充（現行10万円の限度額を20万円に引上げ）
- ・ 経営安定資金融資の対象要件の拡大及び利子補給の拡充（現行50%の補助率を100%に引上げ）
- ・ 商店街活性化事業費補助金の拡大
- ・ 漁業者に対する漁船燃料代の助成
- ・ 農業者に対する堆肥購入費の助成
- ・ 農業者に対するハウス栽培燃料代の助成
- ・ 小額契約案件における市内業者限定要件の設定（1件10万円以下を対象）
- ・ 物件供給契約における市内業者限定要件の設定（物件の一般競争入札を対象）
- ・ 工事請負費支払い期間の短縮（現行40日以内を最大20日に短縮）
- ・ 前払金対象工事の拡大（現行1,000万円以上の設計金額を300万円以上へ拡大）
- ・ 公共施設における白熱電球の蛍光灯への交換の前倒し（地球温暖化対策）
- ・ 公共施設における備品等購入の前倒し発注
- ・ 図書館、学校図書館の図書購入の前倒し発注
- ・ 公用車購入の前倒し発注

### 3 公共事業による経済活性化対策（修繕・工事等の前倒し発注） 71,237千円

#### ●公共施設

- ・ 鎌倉芸術館（大ホール舞台、リハーサル室）
- ・ 市民活動センター（事務室、会議室）
- ・ 鎌倉彫振興事業所（排水設備など）
- ・ 深沢行政センター（屋上防水）
- ・ 子ども会館（空調設備、トイレなど）
- ・ 保育園（待機児童対策保育室、空調設備、屋上防水など）
- ・ 福祉センター（消防用設備など）
- ・ 名越、深沢クリーンセンター（管理棟、中央監視室など）
- ・ 鎌倉国宝館（本館屋根）
- ・ 鎌倉生涯学習センター（空調設備）
- ・ 深沢消防出張所（空調設備）

#### ●その他

- ・ 街路樹維持管理（冬期剪定）
- ・ 道路舗装工事（7か所）
- ・ スクールゾーン整備工事（小坂小、深沢小通学路）
- ・ 雨水排水修繕工事（3か所）

事務担当

鎌倉市経営企画部経営企画課

電話 0467-23-3000 内線 2214, 2215